キャラクター名
十番坂 美音々(ジュウバンザカ ミネネ)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ハヌマーン	ワークス	何でも屋	カヴァー	フリーター
オプショナル		年齢	21	性別	女性
覚醒	犠牲	衝動	妄想	初期侵食率	30 %
出自	安定した家庭	経験	喪失	邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	0			4
感覚	2	0	0			2
精神	2	0	0			2
社会	1	0	0			1

HP	30
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報： 噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
[混沌なる者の槍]	白兵	4r+2	4	12		白兵攻撃で2種類以上のシンドロームのエフェクトを組み合わせていると,判定+3.この武器を装備している間他の武器を装備できない.HP-D6*攻撃
一指穿通	白兵	9r+12		18		1+2+3+4.C値8.コスト8.
一指穿通*	白兵	13r+14		20		1+2+3+4.C値7.コスト8.(100突破時)
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ウェポンケース	
携帯電話	
コネ:噂好きの友人	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
奇妙な隣人	P	N		
上石神井 二菜	P 友情	N 劣等感		
駄菓子屋	P 憧憬	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
C:ブラックドック	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：								
アタックプログラム	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 命中判定+[Lv×2].								
雷光撃	3	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果： 攻撃力+[Lv×2].								
音速攻撃	2	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 攻撃判定d+Lv個.								
獅子奮迅	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	-	
効果： 白兵攻撃の対象を範囲(選択)に変更する.シナリオLv回.								
マシラのごとく	3	5	メジャー	-	単体	対決	80↑	
効果： 攻+lv*10.ダイス-5.シナリオ1.								
バリアクラッカー	1	4	メジャー	武器	-	対決	80↑	
効果： ガード不可,装甲値無視.シナリオにLv回.								
加速装置	1	2	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	自動	-	
効果： ラウンド間【行動値】+[Lv×4].								
O:サイバー	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 【社会】判定+[Lv*2]								
軽功	★							
効果：								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								

女性.20代前半.ショートカット.世捨て人.右腕の肩から指の先まで包帯を巻いている.

数年前に起きた小さな大事件.それの被災者.
("聖剣"というものが関与していたらしいと,事件が終わってから断片的に知る.)

一般人でありながら件のいざこざに深く関わってしまい,一般人であったため抜け出すタイミングを逃した結果,その事件は彼女の日常に小さく深い傷を残すことになる.

以来,片田舎の駄菓子屋に住み込みで働いている.
生活に不自由はしていない.死なない程度に稼いでいるし,気にかけてくれる人は居る.
別に文化的な生活を送っていない訳ではなく,たまに大都市へと遊びに出ることもある.
失った"右腕"だって,今は元通りに"動かせ"る.慣れたものだ.
願わくば,二度とあのような事が起きないように,静かに余生を過ごしたい.
--
彼女の右腕は"槍"である.

右腕を失った経緯は,一般人であった彼女が巻き込まれた当然の帰結である.

一振りの槍があった.事件に関与していたのかもしれないが彼女の預かり知る所ではない.
その槍は意志があった.あるいは機能か,本能のようなものがあった.
形状が変化するその槍は,肩口の断面と癒着した.